

第3章 . 植生調査

3-1. 植生調査概要

植生調査は、植物群落調査と植生図作成（現存植生図）の2つの作業から構成される。
調査地域の植生の概況を把握するため、指定された調査地点（Q1～Q71）において、植物群落調査を行った。

3-1-1. 調査日

調査時期は秋季としたが、一部、池部の植生については植物を確認しやすい6月、8月にも行った。

6月調査：令和6年6月11日、13日

8月調査：令和6年8月21日、23日

秋季調査：令和6年10月30～31日、11月18～20日

3-1-2. 調査地点

調査地点は、サイクリングロードを基準に、その内側を池部、外側を周辺域とした。

池部の調査地点において、事前に設定された地点に陸地がない場合、最寄りの浮島や水際など植生がある場所を代替地「Q'」として選定し、そこで植物群落調査を実施した。代替地「Q'」とした場所は、Q29'、Q30'、Q31'、Q32'、Q34'、Q38'、Q41'、Q44'である。陸域で工事や草刈りの影響で代替地とした場所はQ65'、Q67'である。

調査地点風景を写真3-1、調査地点の位置を図3-1に示す。



Q10 アンペライ群落（池部）



Q13 マコモ群落（池部）



Q63 ススキ群落（周辺域）



Q70 タブノキ群落（周辺域）

写真3-1 植生調査地点風景（抜粋）

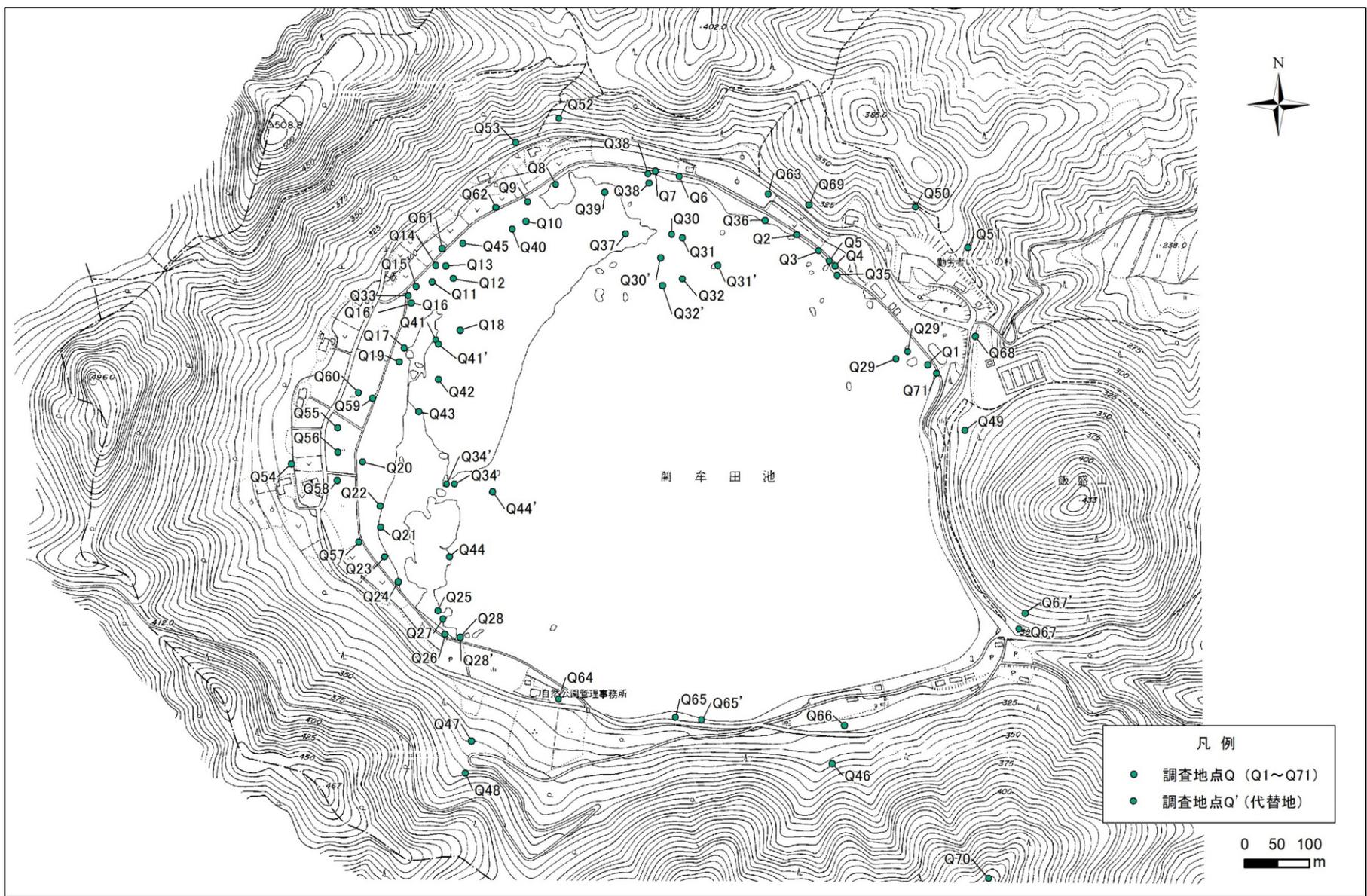


図 3-1 植生調査地点位置図（麓牟田池内の地形は調査結果を反映）

3-1-3. 調査方法

植物群落調査は、あらかじめ指定された調査地点（Q1～Q71）において「ブラウン・ブロンケ・チュクセン法」に基づき各階層（高木層：T1，亜高木層：T2，低木層：S，草本層：H）の植物種名およびその被度・群度を測定・記録し、環境省の「自然環境保全基礎調査植生調査凡例」を参考にして群落単位を決定した。

現存植生図の作成は、植物群落調査の結果をもとに、あらかじめ室内において既存の植生図および最新の空中写真から植物の広がりや輪郭を判読し、現地で再確認して行った。

植生調査状況を写真 3-2 に、「ブラウン・ブロンケ・チュクセン法」による被度・群度の模式図を図 3-2 に示す。

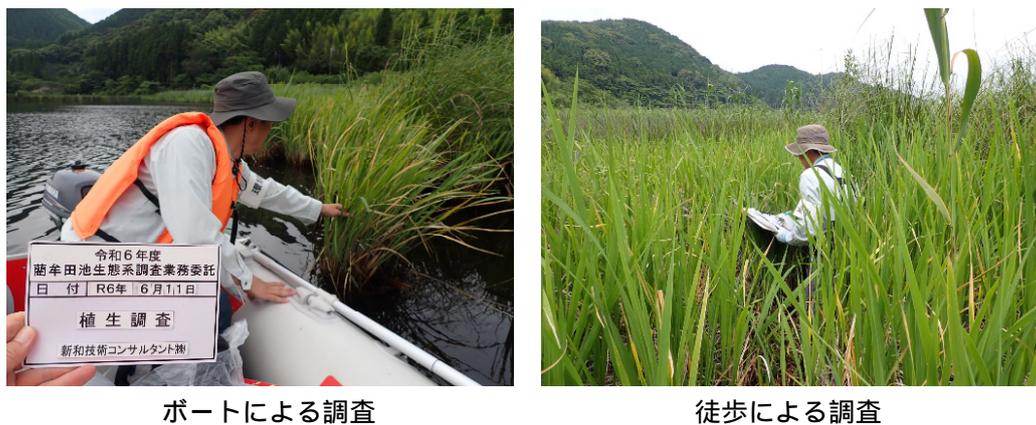


写真 3-2 植生調査状況

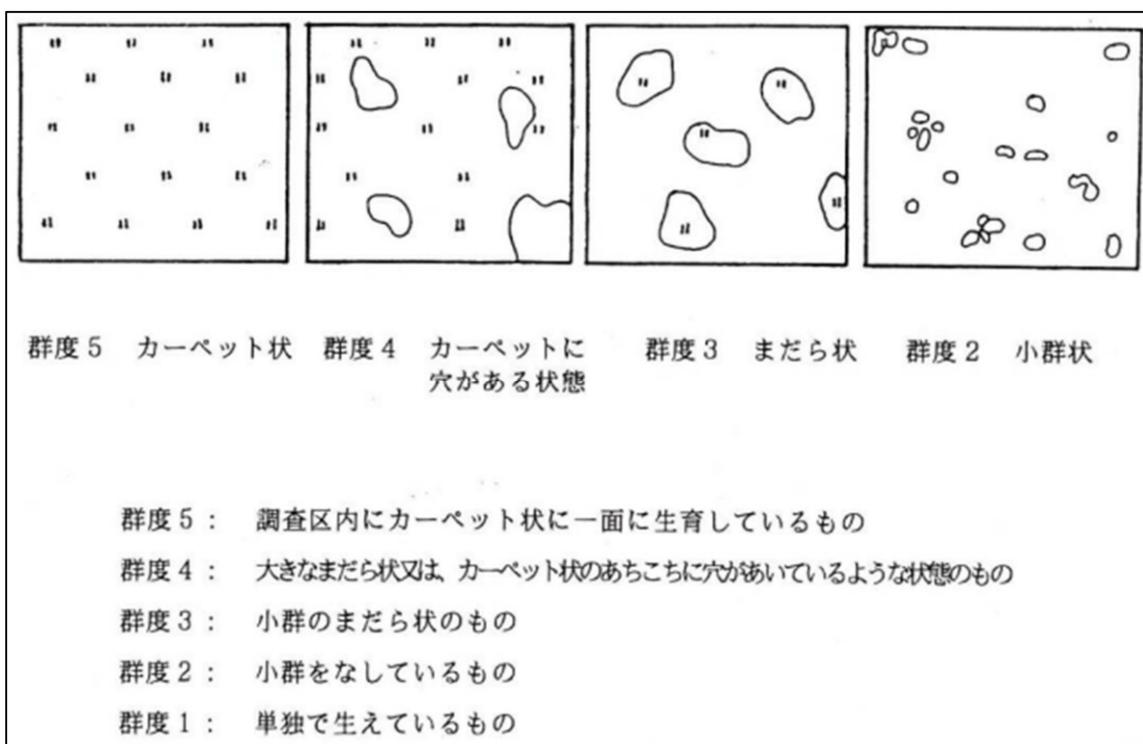
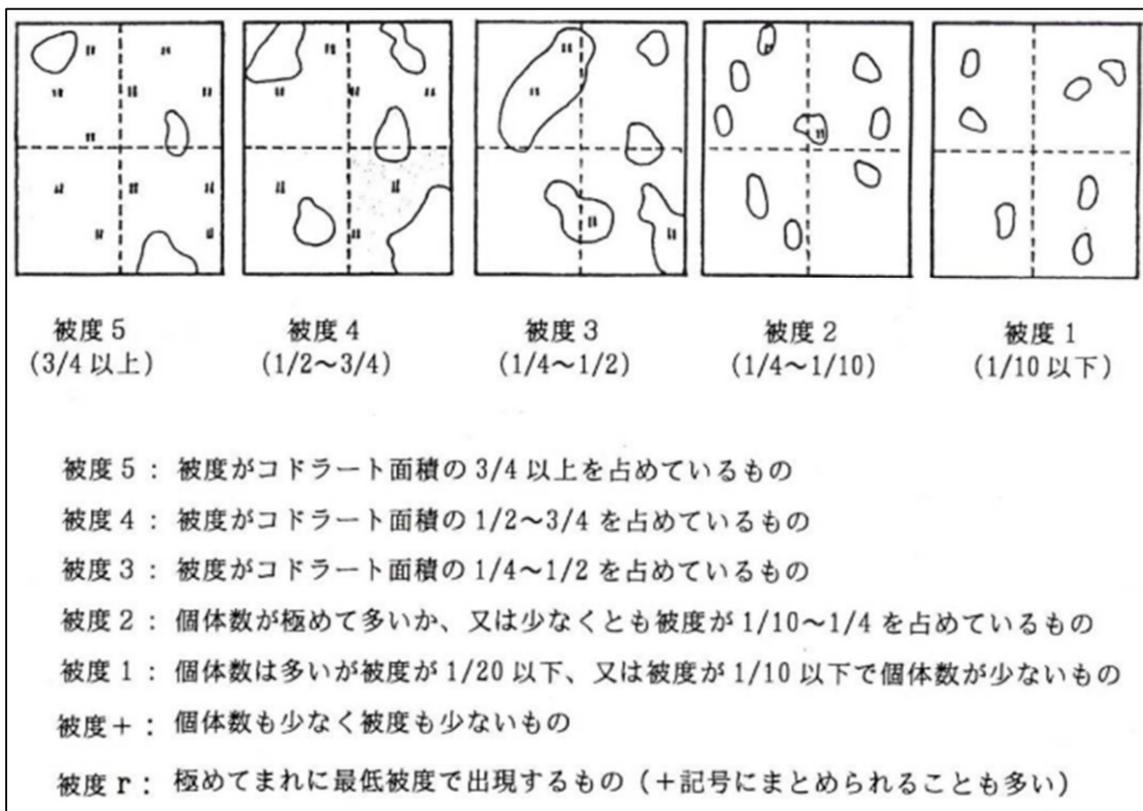


図3-2 「ブラウン・ブロンケ・チュクセン法」による被度・群度の模式図

3-2. 植生調査結果

3-2-1. 植生調査結果

71 地点の植生調査の結果、池部の植生 11 群落、周辺域 12 群落、計 23 群落が確認された。調査地点は、便宜上、サイクリングロードより内側を「池部」、外側を「周辺域」と区分して整理した。調査地点 Q に「′」が付いている地点は、代替地で調査を実施した地点である。

植生調査地点一覧を表 3-1 に示す。

表 3-1 植生調査地点一覧

調査地点		調査地点		調査地点	
Q1	ヌマスギ群落	Q25	アンペライ群落	Q49	スギ・ヒノキ植林
Q2	アンペライ群落	Q26	アンペライ群落	Q50	タブノキ群落
Q3	アンペライ群落	Q27	アンペライ群落	Q51	スダジイ群落
Q4	アンペライ群落	Q28	ハンゲショウ群落	Q52	スギ・ヒノキ植林
Q5	キショウブ群落	Q29′	スズメハコベ-ミカキグサ群落	Q53	モウソウチク林
Q6	マコモ群落	Q30′	スズメハコベ-ミカキグサ群落	Q54	モウソウチク林
Q7	オオタチヤナギ群落	Q31′	ヒトモススキ群落	Q55	チガヤ群落
Q8	ヨシ群落	Q32′	スズメハコベ-ミカキグサ群落	Q56	チガヤ群落
Q9	アンペライ群落	Q33	キショウブ群落	Q57	オオタチヤナギ群落
Q10	アンペライ群落	Q34′	ヒトモススキ群落	Q58	水田雑草群落
Q11	ヨシ群落	Q35	キショウブ群落	Q59	チガヤ群落
Q12	ヒトモススキ群落	Q36	アンペライ群落	Q60	チガヤ群落
Q13	マコモ群落	Q37	アンペライ群落	Q61	オオタチヤナギ群落
Q14	オオタチヤナギ群落	Q38′	マコモ群落	Q62	チガヤ群落
Q15	マコモ群落	Q39	マコモ群落	Q63	ススキ群落(果樹園内)
Q16	カサスゲ群落	Q40	ヒトモススキ群落	Q64	残存・植栽樹群をもった公園 (メタセコイヤ群落)
Q17	オオタチヤナギ群落	Q41′	マコモ群落	Q65′	残存・植栽樹群をもった公園 (カンコノキ群落)
Q18	アンペライ群落	Q42	アンペライ群落	Q66	残存・植栽樹群をもった公園 (イロハモミジ群落)
Q19	マコモ群落	Q43	ヒトモススキ群落	Q67′	ススキ群落
Q20	オオタチヤナギ群落	Q44′	ヒトモススキ群落	Q68	残存・植栽樹群をもった公園 (スダジイ群落)
Q21	マコモ群落	Q45	マコモ群落	Q69	アカメガシワ-カラスザンショウ 群落
Q22	マコモ群落	Q46	クヌギ植林	Q70	タブノキ群落
Q23	ヨシ群落	Q47	タブノキ群落	Q71	ハンゲショウ群落
Q24	マコモ群落	Q48	スギ・ヒノキ植林		

3-2-2. 現存植生図

現存植生図の作成は、平成31年度に作成された既存の植生図を基に、今回の植生調査結果ならびに目視や空中写真による植生判読の結果を加味して行った。今年度に作成した現存植生図の凡例を表3-2に、現存植生図を図3-3に示す。

表3-2 現存植生図凡例

<p>自然植生</p> <p>自然林</p> <p>1 ミミズバイ - スダジイ群集</p> <p>湿地高木林</p> <p>2 オオタチヤナギ群落</p> <p>湿地低木林</p> <p>3 ナンキンハゼ群落</p> <p>湿原</p> <p>4 貧養地小型植物群落</p> <p>スズメハコベ - ミミカキグサ群落</p> <p>5 カサスゲ群落</p> <p>6 アンペライ群落</p> <p>7 ヒトモトススキ群落</p> <p>8 マコモ群落</p> <p>9 オギ群落</p> <p>10 ヨシ群落</p> <p>11 ハンゲショウ群落</p> <p>12 ヒメガマ群落</p> <p>13 ヒルムシロクラス</p> <p>その他</p> <p>14 岩壁植生</p>	<p>代償植生</p> <p>二次林</p> <p>15 スダジイ群落</p> <p>16 タブノキ群落</p> <p>17 アカメガシワ - カラスザンショウ群落</p> <p>タケ・ササ群落</p> <p>18 メダケ群落</p> <p>19 ネザサ群落</p> <p>二次草原</p> <p>20 ススキ群落</p> <p>21 チガヤ群落</p> <p>植林</p> <p>22 スギ・ヒノキ植林</p> <p>23 クヌギ植林</p> <p>24 ヌマスギ植林</p> <p>25 モウソウチク林</p> <p>26 マダケ林</p> <p>耕作地</p> <p>27 路傍・空き地雑草群落</p> <p>28 茶畑</p> <p>29 果樹園</p> <p>30 畑地雑草群落</p> <p>31 水田雑草群落</p> <p>32 放棄水田</p> <p>その他</p> <p>33 緑の多い住宅地</p> <p>34 残存・植栽樹群をもった公園</p> <p>35 キショウブ群落（湿原植栽）</p> <p>36 市街地</p> <p>37 開放水域</p> <p>38 自然裸地（無植生の泥炭浮島）</p>
--	---

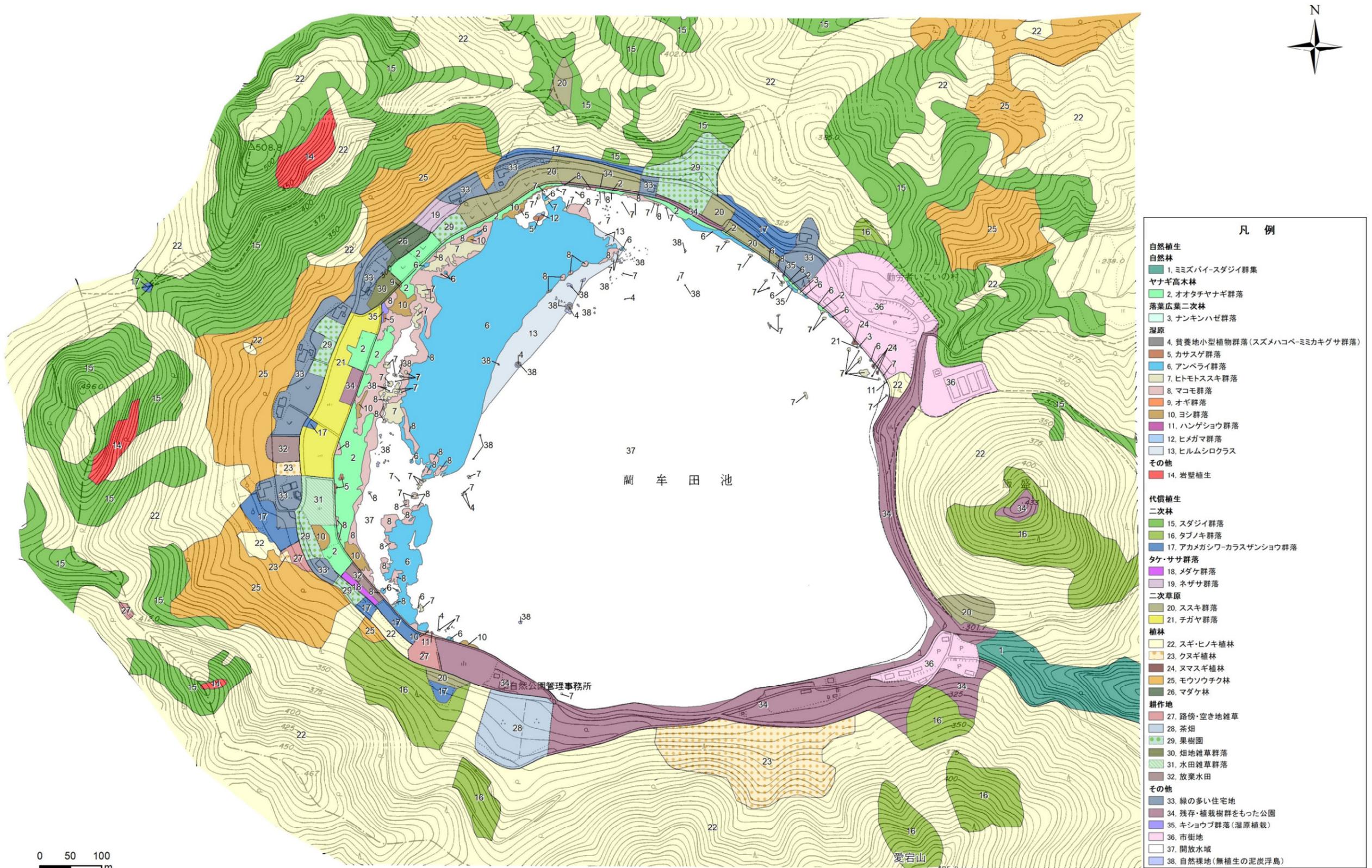


図 3-3 現存植生図

3-3. 植生調査結果の考察

3-3-1. 各群落の分布面積

蘭牟田池の面積は約 60ha (600,000 m²), その内、湖面 (開放水域, ヒルムシロクラス, 自然裸地) を除く泥炭形成植物群落の面積合計は、109,193 m² となった。面積の広い順にアンペライ群落, マコモ群落, オオタチヤナギ群落である。蘭牟田池の西部～北西部の湿原では、強風や水位変動の影響を受けて湖内を浮遊する無植生の浮島 (自然裸地) が散見された。群落毎の面積を表 3-3, 図 3-4 に示す。

表 3-3 (1) 群落毎の面積 (池部)

区分	群落名	面積 (m ²)
湿地高木林	2 オオタチヤナギ群落 (湿原)	12,770
湿地低木林	3 ナンキンハゼ群落	72
湿原	4 スズメハコベ - ミミカキグサ群落	100
	5 カサスゲ群落	294
	6 アンペライ群落	68,128
	7 ヒトモトススキ群落	5,115
	8 マコモ群落	19,349
	9 オギ群落	16
	10 ヨシ群落	2,946
	11 ハングショウ群落	14
	12 ヒメガマ群落	55
	13 ヒルムシロクラス	10,892
	21 チガヤ群落 (浮島)	6
植林	24 ヌマスギ植林	116
その他	35 キショウブ群落 (植栽)	212
	38 自然裸地 (無植生の浮島)	416

面積は小数点以下を四捨五入

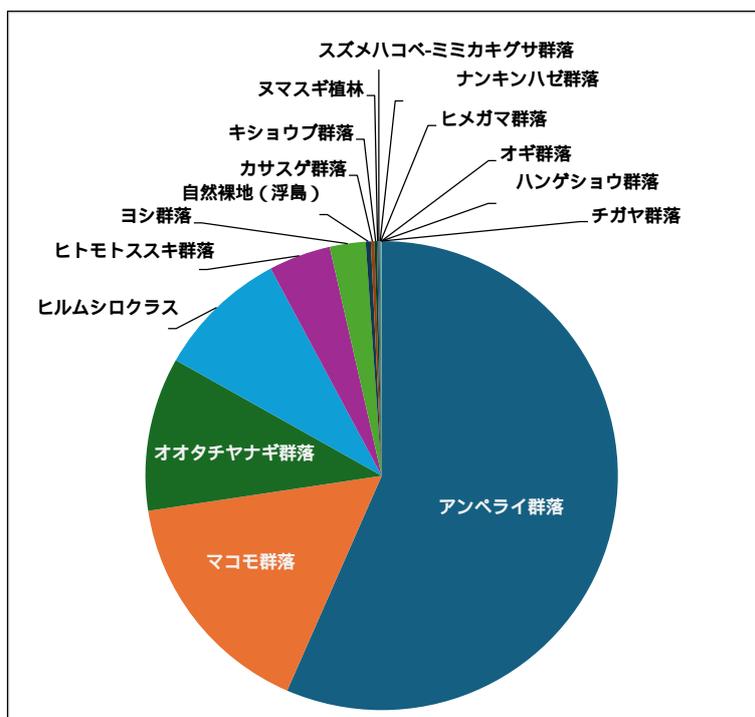


図 3-4 植物群落毎の面積 (池部)

藪牟田池の周辺部（サイクリングロード外側～植生図の範囲内）では，広い順にスギ・ヒノキ植林，スダジイ群落，モウソウチク林となった。オオタチヤナギ群落やヨシ群落は，サイクリングロードの外側の耕作地（水田跡地）でも生育を確認した。

表3-3(2) 群落毎の面積（周辺部）

区分	群落名	面積 (m ²)
自然林	1 ミミズバイ - スダジイ群集	19,512
湿地高木林	2 オオタチヤナギ群落 (水田跡地)	6,399
二次林	15 スダジイ群落	300,820
	16 タブノキ群落	83,358
	17 アカメガシワ - カラスザンショウ群落	13,538
タケ・ササ群落	18 メダケ群落	688
	19 ネザサ群落	2,111
植林	22 スギ・ヒノキ植林	816,196
	23 クヌギ植林	30,498
	25 モウソウチク林	136,308
	26 マダケ林	2,721
耕作地	10 ヨシ群落 (水田跡地)	737
	20 ススキ群落	21,135
	21 チガヤ群落	12,943
	27 路傍・空き地雑草群落	3,508
	28 茶畑	12,487
	29 果樹園	16,804
	30 畑地雑草群落	1,682
	31 水田雑草群落	4,010
	32 放棄水田	3,228
その他	14 岩壁植生	10,651
	33 緑の多い住宅地	30,491
	34 残存・植栽樹群をもった公園	68,035
	36 市街地	40,192

面積は小数点以下を四捨五入